



2021年7月15日 (木)

# 第61期 (2022年3月期) 第1四半期決算説明会

(2021年4月1日～2021年6月30日)

代表取締役社長  
取締役

最高経営責任者 (CEO)  
管理本部長

保木 潤一  
川久保 秀樹

## 将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

# 業績の概要

---

# 第61期（2022年3月期）第1四半期損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	20.6 60期1Q実績		21.6 61期1Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,376		8,895		519	106.2%
営業利益	1,143	13.7%	1,492	16.8%	348	130.5%
経常利益	1,251	14.9%	1,495	16.8%	243	119.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	908	10.8%	1,089	12.2%	181	120.0%
E P S	30.04円		36.65円			

HOGY

4

## ■増収増益

**売上高** : + 519百万円 (6.2%増)

- : 新型コロナによる手術件数は前年同期比では改善したものの  
コロナ禍前の状態には戻っていない
- : プレミアム、プリスターキットの販売は好調
- : 特需の反動減

**営業利益** : + 348百万円 (30.5%増)

- 原価
  - 57.5%(前年比△0.7pt)
  - 生産量増加に伴う生産性の改善
  - 償却費の減少
- 販売管理費
  - △70百万円 (3.0%減)
  - 人件費、試験研究費の減少
  - 活動量旅費交通費の増加

**経常利益** : + 243百万円 (19.5%増)

: 為替等

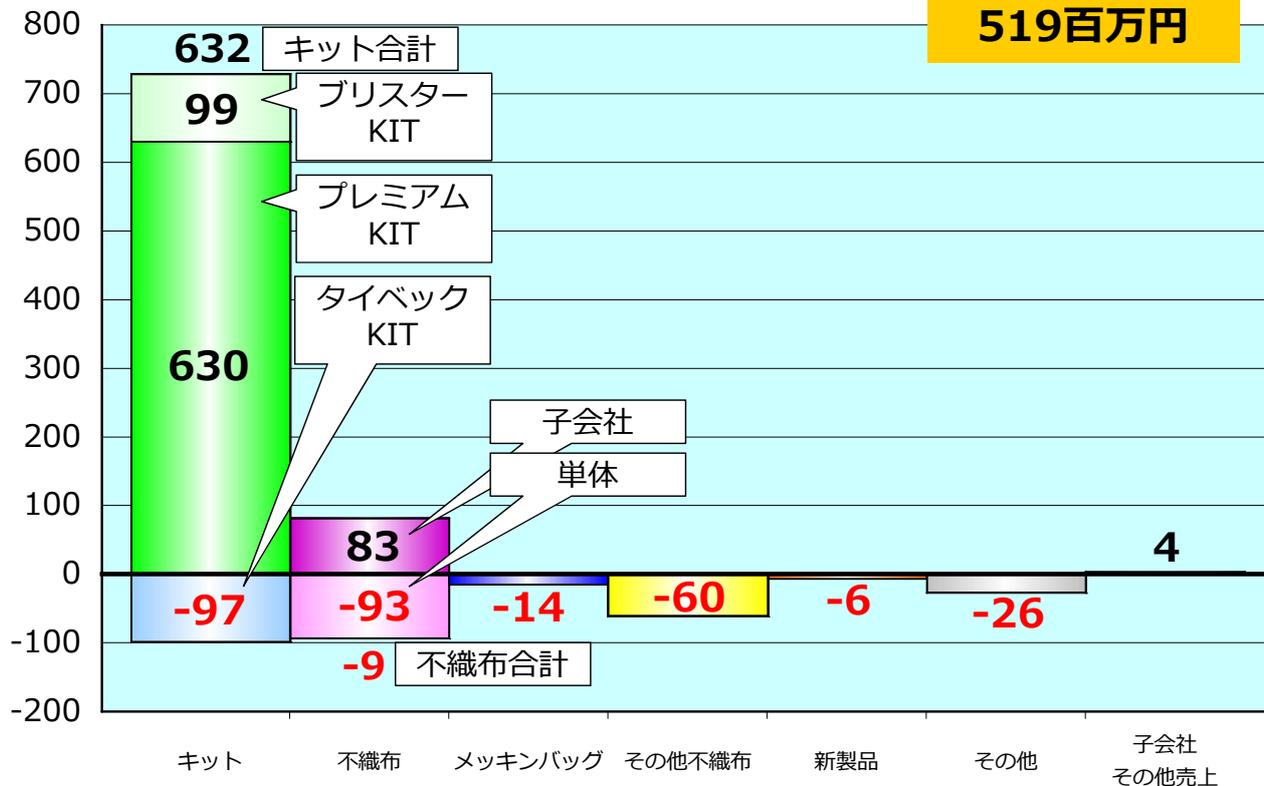
# 第61期（2022年3月期）第1四半期 主な製品の売上高伸び額



(単位：百万円、端数：切捨て)

61期1Q伸び額

**519百万円**



HOGY

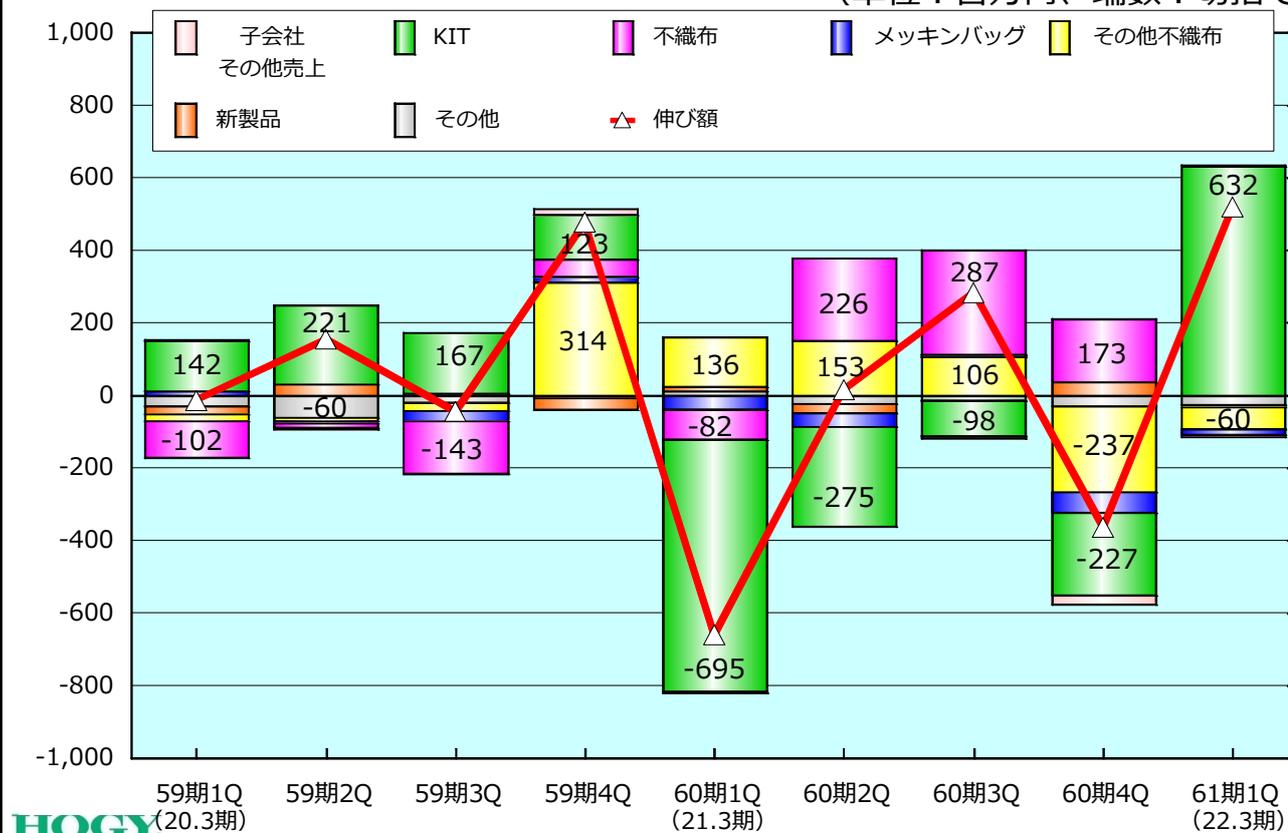
5

- ・ 新型コロナにより手術件数が減少(延期)は続いているものの、前年同期比では改善がみられ、KIT製品で反動増となる
- ・ **プレミアムキットへ販売を注力した結果、前年比56.7%増加**
- ・ タイベックキットのマイナスはプレミアムキットへの置換
- ・ 不織布（ガウンを中心とした感染防止関連製品）とその他不織布（マスク）は特需の反動減

# 第61期（2022年3月期）第1四半期 四半期別売上高伸び額の内訳



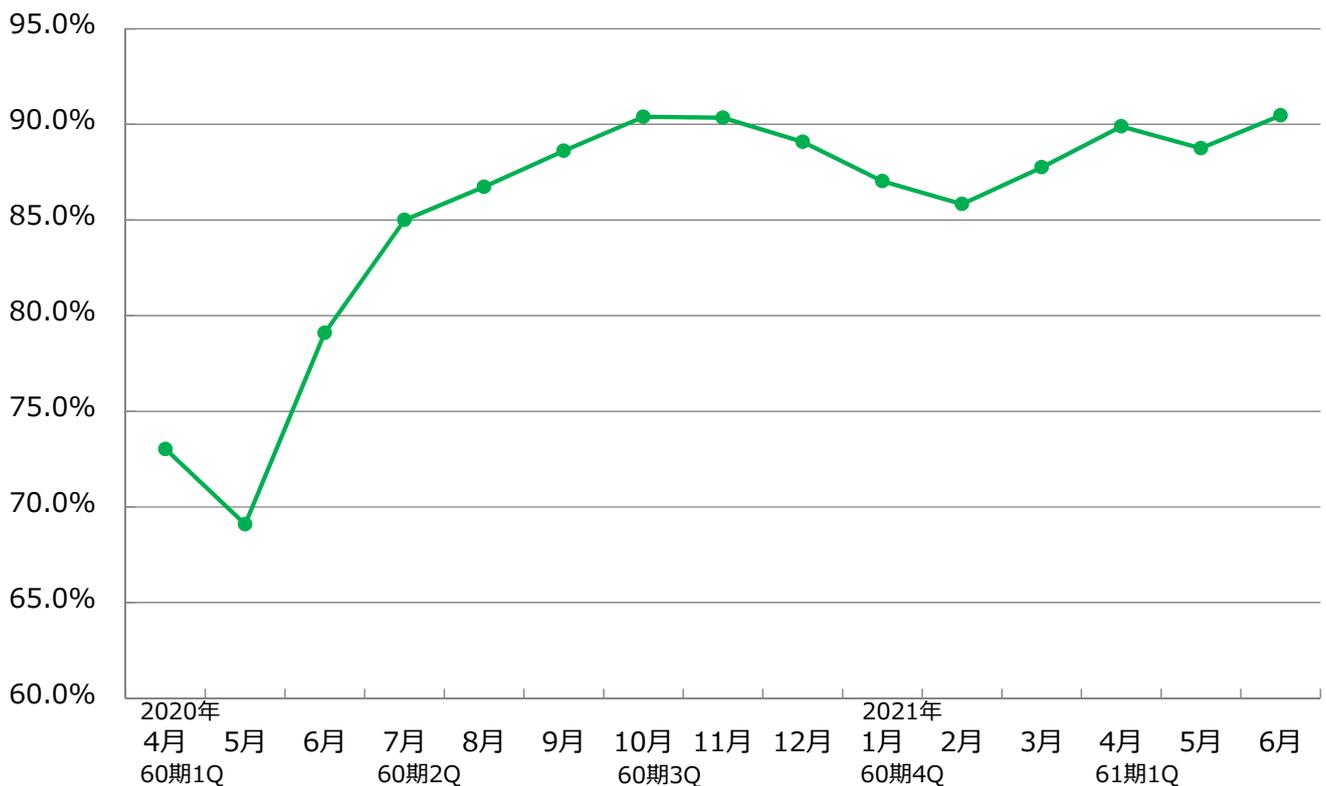
(単位：百万円、端数：切捨て)



(単位：百万円、端数：切捨て)

製品	要因	1Q	2Q	3Q	4Q	60期	1Q
KIT	新規等	124	154	292	184	754	232
	コロナ	-820	-430	-390	-410	-2,050	400
	<b>KIT 合計</b>	<b>-695</b>	<b>-275</b>	<b>-98</b>	<b>-227</b>	<b>-1,295</b>	<b>632</b>
不織布	コロナ (ガウン+プリコーション)	120	340	310	240	1,010	-71
	海外	23	101	99	120	343	83
	その他 (コロナ影響含む)	-225	-215	-121	-187	-748	-21
	<b>不織布 合計</b>	<b>-82</b>	<b>226</b>	<b>287</b>	<b>173</b>	<b>604</b>	<b>-9</b>
メッキンバッグ	コロナ	-40	-40	0	0	-80	0
その他不織布	コロナ	160	180	130	-240	230	-70
	その他	-24	-27	-24	-7	-82	10
	<b>その他不織布 合計</b>	<b>136</b>	<b>153</b>	<b>106</b>	<b>-237</b>	<b>159</b>	<b>-60</b>
上記要因以外		-20	-89	-13	-73	-195	-44
<b>合計</b>		<b>-661</b>	<b>15</b>	<b>282</b>	<b>-364</b>	<b>-728</b>	<b>519</b>

## 2000病院での新型コロナによる手術への影響（営業員報告）

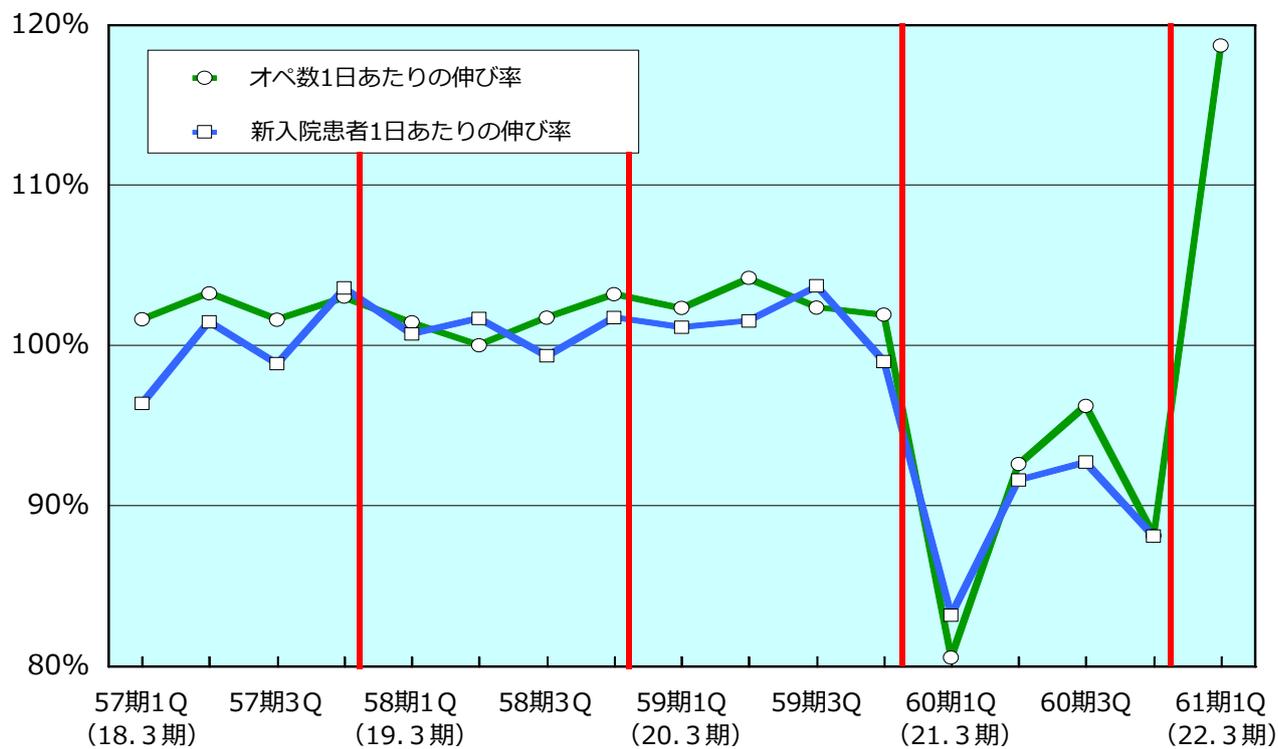


HOGY

7

- ・ 弊社営業員調べによる約2000病院での新型コロナによる手術件数への影響の調査結果  
60期1Q：25%減、2Q：13%減、3Q：10%減、4Q：13%減  
61期1Q：10%減
- ・ 緊急性の高い手術ほど回復傾向が強くなる

# オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



- 医療機関によって手術件数の回復傾向に差があり2極化が進む

## ■ 市場環境

- ✓ **医療従事者の離職率の増加**
- ✓ 医療従事者の働き方改革に対する議論の再燃
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**

## ■ 決算のポイント

- ✓ 新型コロナにより手術件数の減少(延期)は続いているものの、前年同期比では改善がみられ、KIT製品で反動増となる
- ✓ プレミアムキットの売上高増加（前年比56.7%増）
- ✓ 不織布製品の特需反動減が始まる
- ✓ 営業活動は一部制限が継続
- ✓ プレミアムキット販売への資源の集中化
- ✓ 生産量増加により工場は生産性が改善

# 第61期（2022年3月期）経営計画

---

## 第61期（2022年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		38,400		1,895	105.2%
営業利益	5,632	15.4%	6,350	16.5%	717	112.7%
経常利益	5,988	16.4%	6,620	17.2%	631	110.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,959	13.6%	4,720	12.3%	△239	95.2%
E P S	164.03円		160.41円			

HOGY

11

### ■ 増収減益計画

#### ■ 想定事業環境について

- ✓ ワクチン接種、変異株の感染拡大と感染状況を大きく変動する要因が多分に含まれており、不透明な状況が続く
- ✓ 一部影響は残るものの前年よりは改善すると考える  
(新型コロナによるマイナス影響は前年の半分程度になる)
- ✓ 医療機関の対応は2極化が進む

■ 医療機関では新型コロナにより増加した業務が定着

■ 医療従事者の離職率が増加

### ■ 売上高

- ✓医療機関での**人員不足が加速**しており、「**安定供給**」と手術準備の「**効率化**」と「**安全性向上**」に貢献できるプレミアムキットの提案を強化
- ✓手術件数に起因し減少した製品は反動増を、特需が起きた製品は反動減を見込む

### ■ 原価

- ✓製造量増加に伴う生産性の改善
- ✓償却費の減少（新工場2期設備の一部稼働開始）
- ✓円安の影響による原価の増加
- ✓インドネシアでの需要に合わせた生産体制の確立

### ■ 販売管理費

- ✓営業活動増加に伴う旅費交通費・見本費等の増加

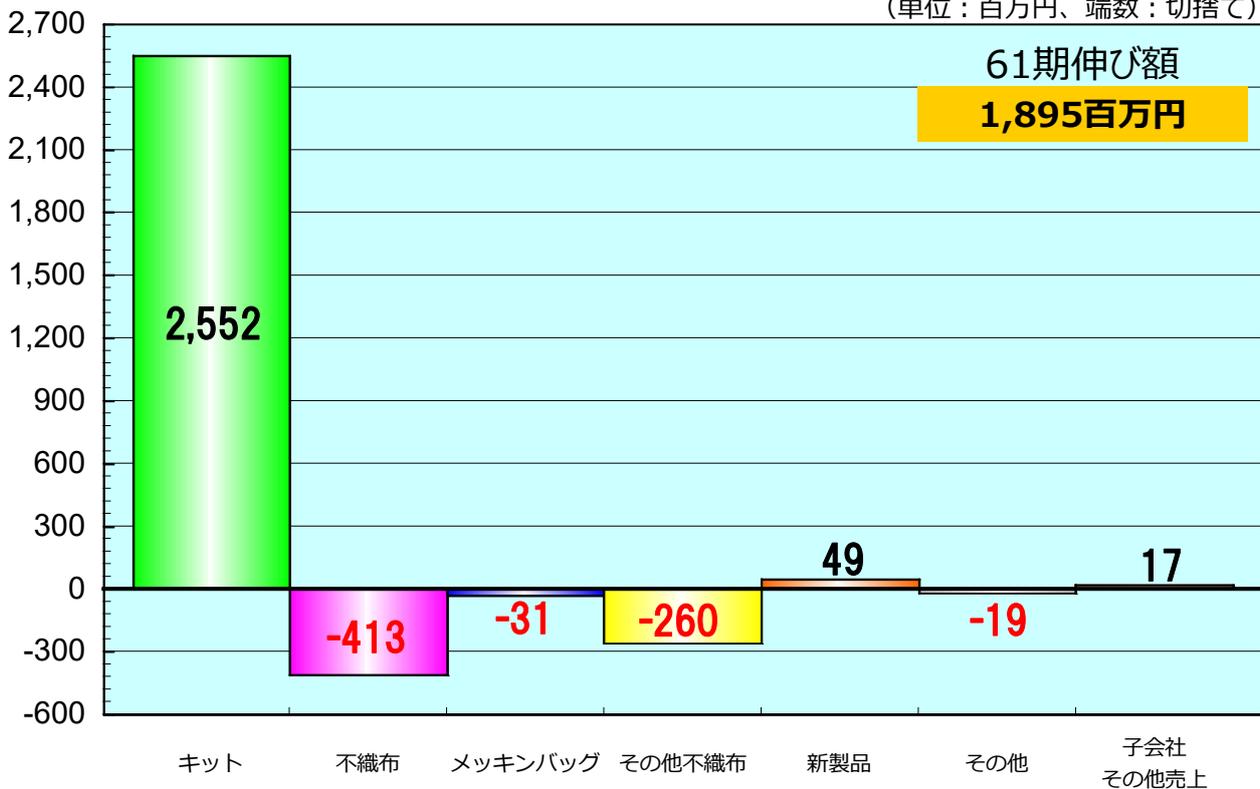
### ■ 特別利益

- ✓前年度は株式売却益を計上

## 第61期（2022年3月期）主な製品の売上高増減額



（単位：百万円、端数：切捨て）



HOGY

13

- **キット製品**：新規（プレミアムキット）契約と新型コロナウイルスによる減少の反動をうけ増加
- **不織布製品**：ガウン、プリコーション特需の反動減
- **その他不織布**：マスクの特需の反動減
- **感染防止関連製品市場はコロナ禍前の状態に戻り、競争激化**

### ▼KIT、不織布製品の要因別内訳

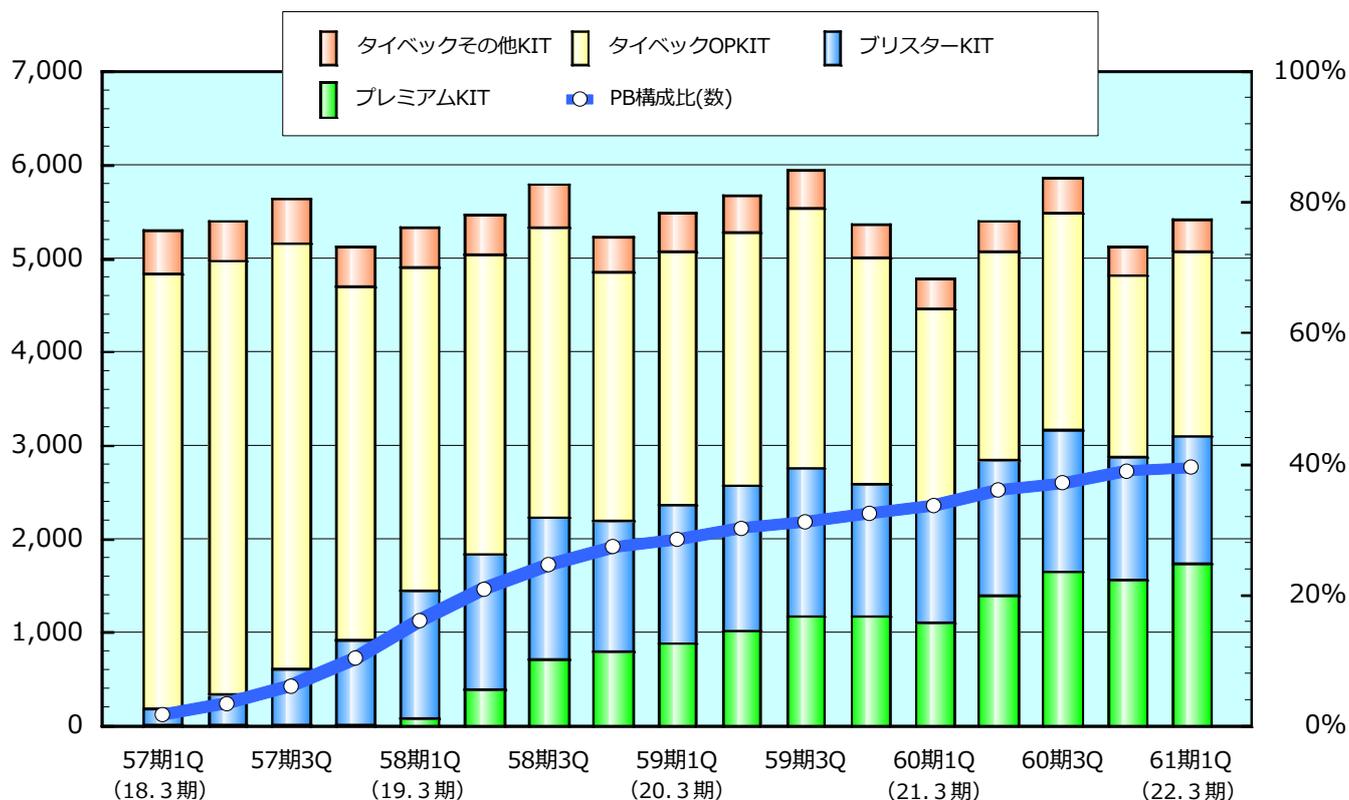
製品	要因	60期実績	61期内訳
KIT	新規等	754	1,252
	コロナ	-2,050	1,300
	<b>KIT 合計</b>	<b>-1,295</b>	<b>2,552</b>
不織布	コロナ (ガウン+プリコーション)	1,010	-710
	海外	343	27
	その他 (コロナ影響含む)	-748	260
	<b>不織布 合計</b>	<b>604</b>	<b>-413</b>
上記製品以外		-36	-244
<b>合計</b>		<b>-728</b>	<b>1,895</b>

# 実績の詳細

---

# キット製品 売上高推移

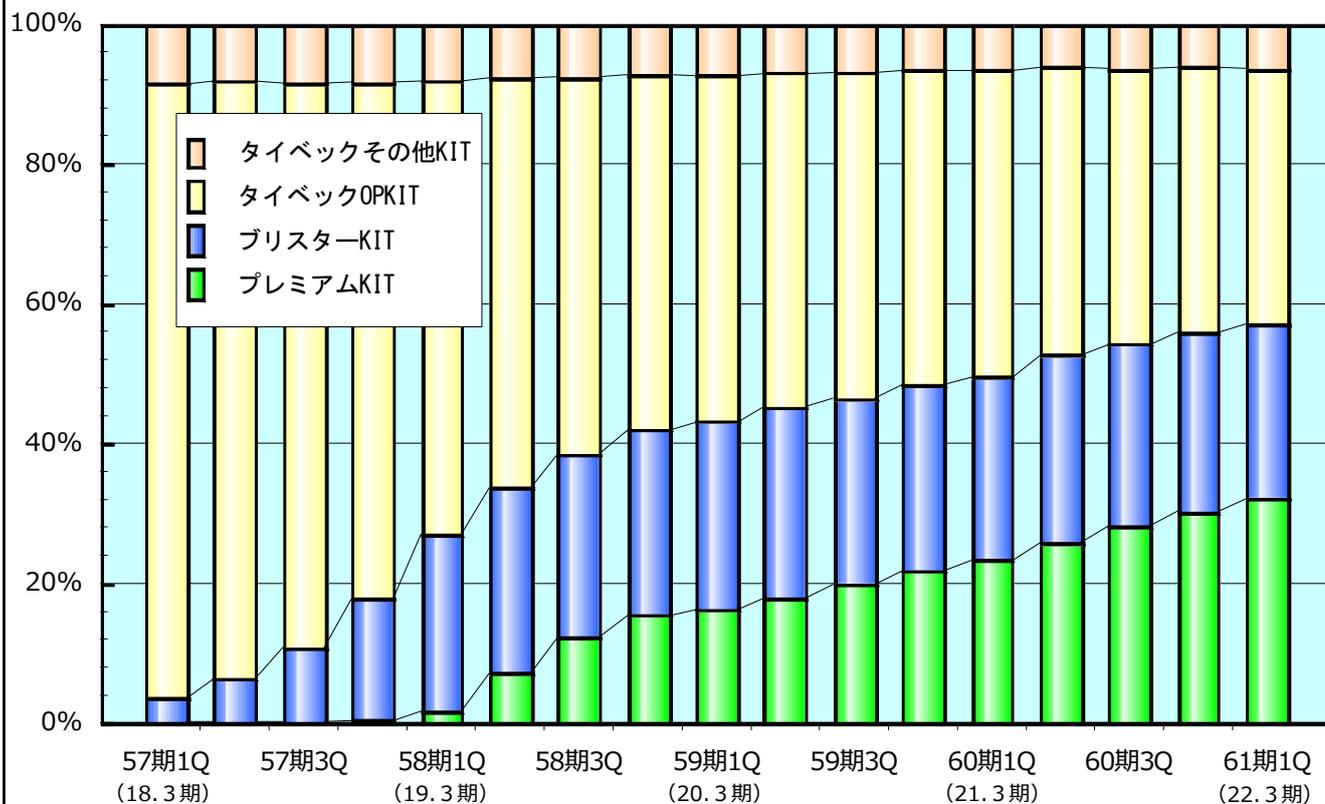
(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY

- ・ 新型コロナの影響でタイベックキットを中心に販売量が減少
- ・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向
- ・ 61期第1四半期 前年比
  - ✓ プレミアム、ブリストア：+730百万円、130.9%
  - ✓ タイベックキット：△97百万円、96.0%

# キット製品 販売構成比 推移



HOGY

・プレミアムキットの販売に注力した結果売上高が伸長し、販売構成比は3割を超過

# オペラマスター契約病院の手術数推移

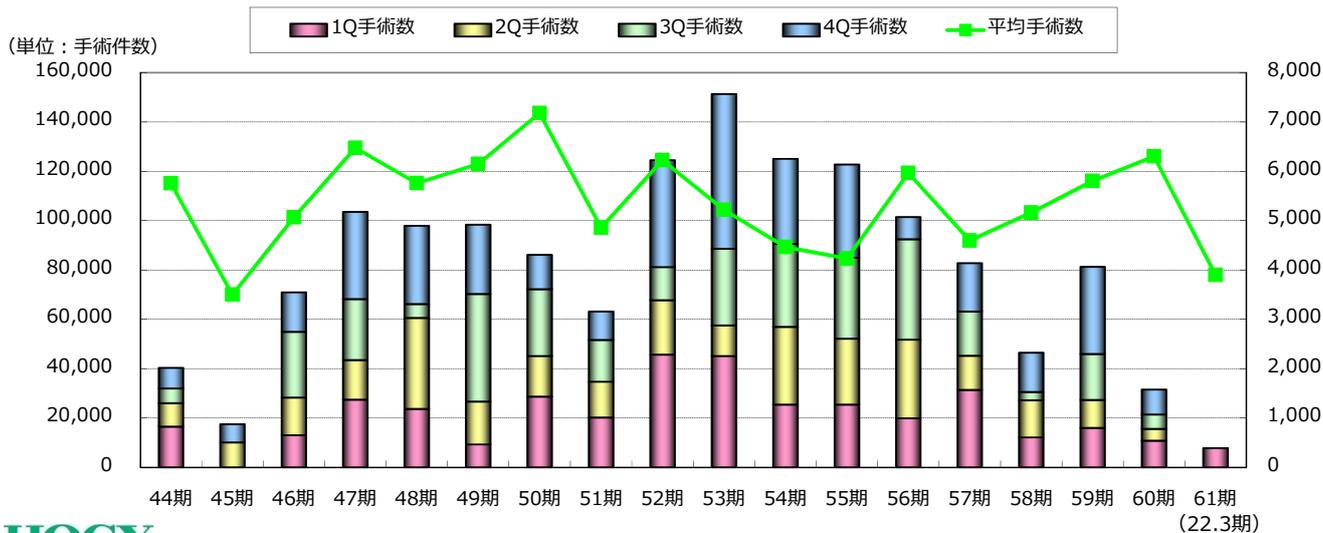


売上高 : 3,614百万円 (前年比 493百万円 : 115.8%)

61期契約施設数 : 新規2施設、解約2施設

累計契約施設数 : 271施設

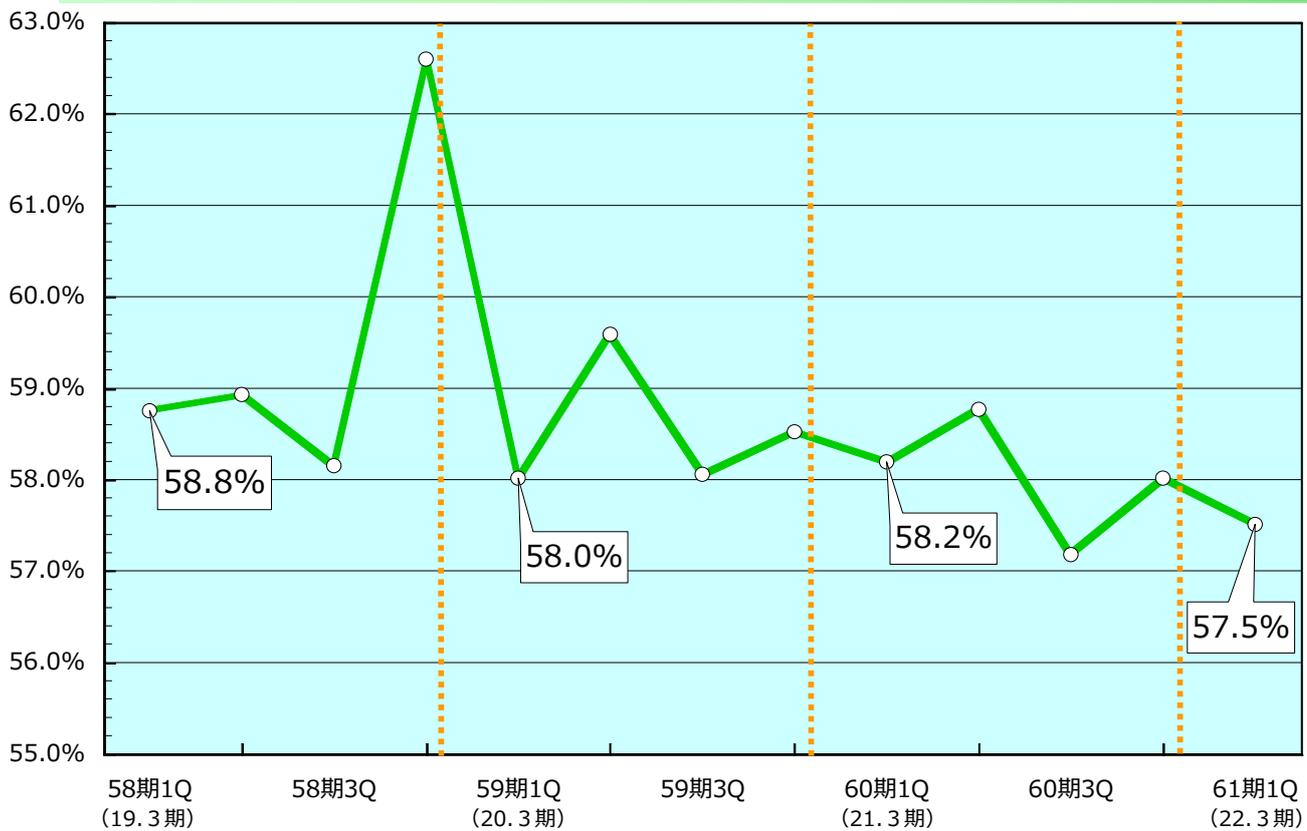
オペラ契約期別 獲得手術数&平均手術数



HOGY

- ・ 61期新規契約病院2件 (Ⅲ群2件)
- ・ 61期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は3,900件
- ・ オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

## 原価率推移



HOGY

18

### ・新工場償却費の減少

償却合計：1,009百万円（前年比：102百万円減）

・ 原価：807百万円（前年比：89百万円減）

・ 販管費：201百万円（前年比：12百万円減）

# 第61期（2022年3月期）第1四半期損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期1Q実績		22.3 61期1Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,376		8,895		519	106.2%
売上原価	4,874	58.2%	5,115	57.5%	241	105.0%
売上総利益	3,502	41.8%	3,780	42.5%	277	107.9%
販売費及び一般管理費	2,358	28.2%	2,287	25.7%	△70	97.0%
営業利益	1,143	13.7%	1,492	16.8%	348	130.5%
営業外損益	107		2		△105	
経常利益	1,251	14.9%	1,495	16.8%	243	119.5%
特別損益	-		△1		△1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	908	10.8%	1,089	12.2%	181	120.0%
E P S	30.04円		36.65円			

主な増減科目	前年比
人件費	△55
旅費交通費	22
減価償却費	△12

HOGY

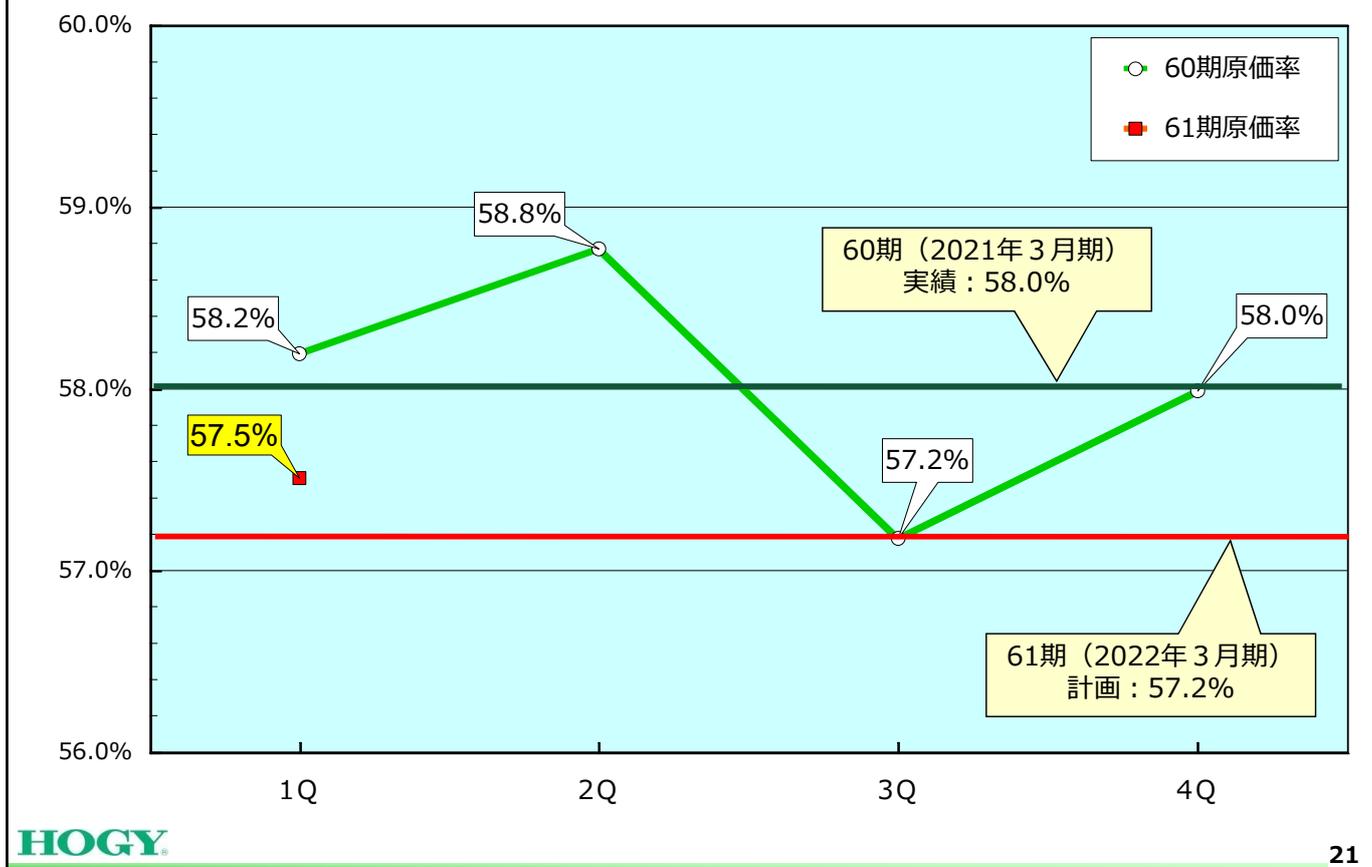
19

- ・ 販売管理費：2,287百万円(△70百万円)
  - ✓ 人件費：賞与等による影響
  - ✓ 旅費交通費：前期営業活動自粛の反動増
- ・ 設備投資：719百万円(内新工場追加：598百万円)

# 第61期（2022年3月期）経営計画

---

# 第61期（2022年3月期）損益計算書



- ・新工場償却費の減少

償却合計 : 4,500百万円 (前年比 : 49百万円減)

- ・ 原価 : 3,600百万円 (前年比 : 43百万円減)

- ・ 販管費 : 900百万円 (前年比 : 6百万円減)

- ・新工場第2期 一部設備の取得を開始

- ・生産量増加による原価率の改善

- ・コーポレートレート115円

# 第61期（2022年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		38,400		1,895	105.2%
売上原価	21,177	58.0%	21,980	57.2%	802	103.8%
売上総利益	15,326	42.0%	16,420	42.8%	1,093	107.1%
販売費及び一般管理費	9,694	26.6%	10,070	26.2%	375	103.9%
営業利益	5,632	15.4%	6,350	16.5%	717	112.7%
営業外損益	355		270		△85	75.9%
経常利益	5,988	16.4%	6,620	17.2%	631	110.6%
特別損益	1,001		0		△1001	0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,959	13.6%	4,720	12.3%	△239	95.2%
E P S	164.03円		160.41円			

主な増減科目	前年比
人件費	308
旅費交通費	139
見本費	86
試験研究費	△146

一部株式売却益 2021年3月期：1,028百万円
------------------------------

- ・ 販売管理費：10,070百万円(375百万円)
  - ✓ 人件費：定期昇給、人員増
  - ✓ 旅費交通費・見本費：新型コロナによる反動
  - ✓ 減価償却費：システム償却の減少
- ・ 特別利益：前年度、有価証券株式の売却利益計上
- ・ 設備投資：3,700百万円(内新工場追加：1,800百万円)



2021年7月15日（木）

# 第61期（2022年3月期） 第1四半期決算説明会

**（2021年4月1日～2021年6月30日）**

代表取締役社長  
取締役

最高経営責任者（CEO）  
管理本部長

保木 潤一  
川久保 秀樹